

【委員会記録】

有持委員長

ただいまから、経済委員会を開会いたします。(10 時 33 分)

直ちに、議事に入ります。

これより、労働委員会関係の調査を行います。

労働委員会関係の付託議案はありませんが、この際、理事者側から報告事項があれば、これを受けることといたします。

【報告事項】なし

蛭多労働委員会事務局長

おはようございます。

報告事項はございません。

どうかよろしくお願いいたします。

有持委員長

それでは、これより質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

松崎委員

事前委員会の際に、徳島県労働委員会が集団的なもの、それから個別の労使紛争の関係について、全国トップレベルのあっせん、相談などをやられているということをお聞きして、そのときに、その業態の中身を後で教えていただきたいということをお願いをしていました。それを見せていただいたんですが、気づいたのは、最近、個別の相談やいろいろ紛争が起こっているところの半分近くがサービス業に関連する職場が多いというふうに感じたんですけれども、サービス業ということになると中小零細の企業なのかなということと、そこで働く皆さん、また、使用者側の皆さんも、いわゆる労働関係の法律等々に熟知していないということがもめごとの原因ではないのかなと、そんなふうに思っております。

労働委員会がそのことに直接関与するということにはなりませんけども、そういう特色の中から、今後の県内の円滑なといいますか、労使の協調関係をつくっていくためには、どのように考えていったらいいのかなと思っております。先ほども言いましたように、労働委員会としていろんなたくさんのあっせん、相談等々にも取り組まれておりますので、その中から出てきた感想などがありましたら、ちょっと教えていただければと思います。

蛭多労働委員会事務局長

私のほうで、相談なり、あっせんなりがあった、その業種について十分分析を行っておるわけではございませんけれども、最近、特にリーマンショック以降、大分、相談とか、あっせんは高どまりの傾向にあるわけで

ございます。

その中で、一般論で言いますと、1次、2次、3次という産業分類でいきますと、3次産業化がずんずん進んでいるということで、そもそも3次産業の割合が高くなっているというところもあろうかと思います。雇用の形態の中では、正規雇用というだけでなく、最近是有期の雇用でありますとか、契約とか派遣でありますとか、雇用形態も多様化してきている、そういう状況もありまして、特にリーマンショック以降の厳しい経済情勢の中で、相談なりあっせんなりが高どまりの傾向にあるのかなというふうには考えておるところでございます。

その中で労働委員会としましては、一応県民の皆さんからの申請に基づいて対応している機関でございます。ただ、労働委員会がこういうような労働相談でありますとか、あっせんでありますとか、そういうことをやっておるという制度の周知につきましては、従来からもやっておりますけれども、労働局でありますとか、法テラスでありますとか、当然、労働組合、使用者団体といったようなところ、市町村、そういったところとも十分連携を図りながら、制度の周知にこれから一層努めていき、そういう制度の中での相談、あっせんに十分対応できるような取り組みを進めてまいりたいと考えております。

松崎委員

ありがとうございました。

労働委員会に直接どうしてほしい、こうしてほしいという話にはならないと思います。労働委員会が相談、あっせん等々に取り組んだ中で、私が思うところでは、労働関係の法律を働く側も使用者の皆さんも十分理解しないまま雇用契約を結んでしまって、後でもめているのかなという感じもしております。その辺は、市町村、労働局、労働組合という関係のお話がありましたけれども、教育の現場でも社会に育っていく段階で、働く皆さんの権利であったり、働く皆さんの義務であったりをしっかり学習する機会が必要なんじゃないかなというふうに感じておりまして、そういうことについては今後、商工労働部での所管であったり、教育委員会のほうであったりに要望もしていきたいなというふうに思っております。

いずれにいたしましても、たくさんの紛争解決なり、サービスに取り組まれている労働委員会の事務局の皆さん、労働委員の皆さんに敬意を表しておきたいというふうに思います。以上です。

有持委員長

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、労働委員会関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。(10時40分)